

豊中市議会議員(保守系市民派・無所属)

福岡まさき

平成23年10月 後援会事務局発行 市政だより

九月定例会



【学校耐震化】に黙々と取り組んだ5年間……着実な成果へ

「学校耐震」これまでの経過…

豊中市立学校園耐震化率が16.1%と府内33市町村の下から5番目に低かった平成18年、私と所属する会派「新政とよなか」はこの問題を最初に取り上げ、耐震化率向上に取り組んできました。

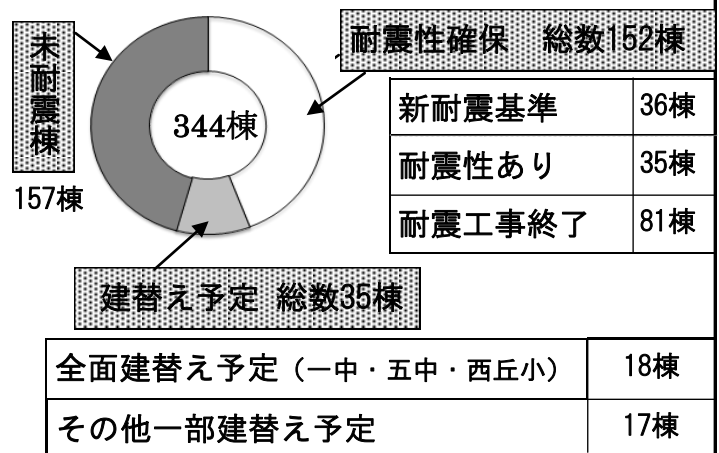
特に災害非常時に市民の避難場所ともなる学校体育館の耐震化は最優先で取り組むべき施策であると主張し、平成23年3月、豊中市立59小中学校の全体育館の耐震化が完了しました。(現在44.2%)

しかし、この施策の実現には大変苦労が多く、全教室エアコン設置の大圧力と施策優先順位を巡っての戦いでした。

今回、国の耐震工事助成措置の延長がなければ、当市の耐震対策の遅れは、子どもたちの命と巨大な財政負担のリスクにさらされ続けることとなります。

「学校耐震」の現状

二次診断が平成21年度に全て完了



今後の取組み

残り192棟の耐震化を早急に進めると同時に、建替えについては地域に大きな影響を及ぼすこととなります。市民や地域との連携や協働が言われ地域自治を進める今、多くの市民・団体への意見聴取や協力システムの必要性を訴え実現することになりました。

「新政とよなか」議員団控え室

〒561-8501

豊中市中桜塚3丁目1番1号

TEL 6858-2620 (直通)

FAX 6852-2384

自宅

〒560-0082

豊中市新千里東町2-7 C27-1109

TEL 6833-7705

FAX 6831-1281

E-mail ximtechs@dab.hi-ho.ne.jp

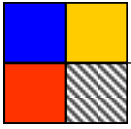
福岡正輝 ホームページもご覧ください

<http://www.fukuokamasaki.com>

又は (ヤフー又はグーグルの福岡正輝で検索)



※日常の活動や政治信条、市政の裏話など報告しています。
また、「市政だより」に掲載できない詳細部分はブログで公開しています。



「福岡まさき」の

活動日記

なでしこJPN から何を学ぶ 7/18

「なでしこ ジャパン」 が女子W杯ドイツ大会で優勝した。

試合開始からアメリカチームの怒涛の攻撃に防戦一方でよく点を取られないで済んだと思いながら前半を終了した。後半もよく耐えてはいたが、ついに先取点を許すことに。体力差や試合内容を見ても「よくここまでこれたものだ」と半ばあきらめと納得で試合経過を見ていた。

しかし、なでしこの選手たちは違っていた。1点を取り返し試合は延長戦に突入。延長戦も前半に先取点を取られたがあきらめることなく後半に同点に追い付く。そしてPK戦の末アメリカチームを圧倒し、第6回女子W杯のチャンピオンとなった。

この試合結果は日本人のみならず世界の人たちにどれだけ大きな衝撃と感動を与えたことだろう。特に最後まで諦めない「なでしこ ジャパン」 のメンタリティと結果を出す信念の強さに脱帽だ。

今回の「なでしこ ジャパン」 の快挙から我々日本人が学ぶべきことは多い。体力やスピードの劣勢をチームワークやモチベーションの高さ、強さで補った。

特に日本の人たちや東日本大震災で被災した人たちに「勇気と元気、笑顔を与えられれば」の彼女たちのコメントには涙が止まらない。

最後まであきらめることなく、常にベストを尽くす。自己の目標に結果を出してこそ責任を果たせるし、多くの人たちの感動を呼ぶことに。この言葉は今の日本人への彼女たちからの貴重なメッセージだ。「我々は偉大なチームに負けた」との賞賛を惜しまない米国の声にも感激だ。今回のことから政治家が学ぶべきことは実に多い。



私の一日はブログの更新で終了。一日を振り返り、書くことで気持ちの整理ができます。皆さんにお伝えしたいことが山ほどある中のほんの一部を紹介します。

EV(電気自動車) 試乗報告 7/21

豊中市が導入したEV(電気自動車) に試乗しました。市が挑戦している「チャレンジ(一)70」はCO2削減を目的としたプロジェクトです。これを支援すべく様々な提言やアイデアを提供してきました。

照明のLED化やカーシェアリング、学校現場への50-50(フィフティフィフティ)の積極導入や小水力発電、市施設での太陽光発電など多くのものに取り組みました。

その内の一つであるカーシェアリングは、市の公用車を事業者から提供を受け不必要な公用車を持たない、また、効率的運行を通じ経費の削減を実施するとともに一部車両からEVへの転換を図ることを目的として、私自身が提言し実現しました。

今回、その一部として導入したEVが納入されたのでさっそく試乗しました。まず最初に驚かされるのが圧倒的な静かさです。車内で感じる音はタイヤ音とエアコンからの風の音くらいで会話には全く支障がありません。

このEVを市の業務外や土日・祝日に市民の皆様にも使って頂き、EVの普及や公用車の効率的使用を目的としています。

第二庁舎に設置されたEV使用については事業会社の会員となり予約制で利用可能です。

問合せ先 オリックスカーシェア
0120-041-493 受付時間：9:00～18:00



「いろいろブログ」



グループホーム 訪問 8/12

先日、知り合いの独居老人が室内で動けなくなり救急車やレスキューが出動するなど大騒ぎとなりました。幸いにも発見が早く意識もしっかりしていたので事なきを得て入院となりました。

今後の単身での生活には無理があり施設探しをすることになりました。何か所か当たったところ幸いにも良いところが見付き親族の方と訪問し決定。

ご本人は間もなく退院し、早速入居されとても気に入っています。今日、担当民生委員さんら3人で面会に行くとても喜ばれ、これで一生安心ですとの声。

しかし、ご本人を特に喜ばせたのは親しい友人との積もる話に花が咲き、思いつき話せた事かもしれません。この方が施設になれば、毎日楽しく生活されることをお祈りしたいと思います。

「ごみの新分別」来年4月～ 8/23

豊中市では平成24年4月からごみの新分別を始めます。市では新しい資源化施設の稼働に合わせて、資源回収を拡大し、ごみと資源物の分け方と出し方の一部を変更します。

これにともない「プラスチック容器包装」の回収が市内全域(これまでは市内27%)で始まります。バケツ、洗面器、スポンジ、CD、CDケースなどが可燃ごみ(燃やすごみ)に変更となります。

これまでと異なるごみ回収が始まるために、市では9月15日から10月25日まで市内各地域で説明会を実施しますので、ご理解とご協力よろしくお願い致します。

また、私が取組んできた民間委託の拡大等で億単位の経費削減が可能となり、ごみ回収の効率化とサービスの質の向上がより改善されることになりました。

7/2～9/30

- 7月13日 新千里消防署 移転建替え
- 8月 2日 身近な環境問題から市政を
- 9月10日 「文教常任委員会」傍聴
- 9月11日 中学校給食の是非について
- 9月28日 学校園耐震化は最重要施策
- 9月30日 老いが受け入れられない…

「市民要望」と議員の立場 10/1

議員にはさまざまな意見や要望が集まってきます。個人への制度の紹介や簡単な回復・修理依頼から市政そのものを動かす政策提言まで、その種類の多さと複雑さはかなりのものです。中には開発者負担金制度の廃止を実現させマンション価格のコスト低下につなげた事なども印象に残ります。

こうした要望や相談を多く頂くのもこれまでの経験や与党として確実に影響力を行使し、市政を動かしてきた実績への評価と感謝しております。

しかし、これまでも公営住宅の建替え反対や生活保護の不正受給につながる相談案件もあり、とても対応できないものや他の市民の皆様にも説明のつかないものも出てきます。

今議会でも質問のあったマンション開発に絡み、市の開発許可を取り消すべく相談を私も含め多くの議員が受けました。この問題は、市が法律に従って許可をしたもので取り消した場合は逆に開発事業者からの損害賠償請求のリスクが市に発生します。

また、相談者の開発反対理由が変化するなか、今回の活断層を理由とした反対運動はいたずらに周辺地域に不安や動揺を与え、資産価値の減少を招き、自らのマンション建替えにも重大な影響がある事も伝えました。今後市は、開発事業者への活断層等の情報は事前提供に努めるとしています。

今後も、おれず、こびず、あきらめず、市と市民全体の利益を守るべく取組みます。

これからも確実な成果に結び付けます！

二つの池の水質・環境改善

新千里東町長谷池

◆以前にも報告した藻の大発生を抑えるべく刈り取り除去作業を実施し、地域の多くの方々のご協力をいただきましたが今夏、新たに問題発生。旺盛な繁殖力の外来種の浮き草(アザラ・クリスタータ)が大発生し池全体が真っ赤になってしまいました。特定外来生物に指定されたこの浮き草に在来種が駆逐されないよう市とともに撃退に取り組むことになりました。

市立豊中病院の二尾池

◆市立豊中病院はこの二尾池を埋め立てて建設、今でも池は一部残っています。この池、富栄養化やその他の理由で非常に濁っており、「救命力世界一」宣言都市の中核病院にふさわしくありません。

これまでこの問題を解決すべく多くの団体や個人が取り組みましたが解決に至っていません。

今回、水質改善の可能性の高い資材を提供頂ける方々との話し合いを持ち、ご協力いただけることになりました。

今後、資材の投入作業や継続するための資金も必要となってきます。作業等も含めご協力いただける方のお声をお待ちしています。



市政や議員に厳しい目を！

パフォーマンスや言葉に惑わされることなく

厳しくチェック！



議員を育てるのは市民の厳しい目

景気低迷や高齢化の進展により税収不足と民生費の拡大が豊中市の将来に大きな不安要因となっています。人員削減と思いきった人件費の削減、効率的市政運営を目指す議員たちに応援の手を！

国に意見書を提出しました



消費者団体の要請を受けた私は、議員全員の同意を得、国に対する意見書採択に取組みました。内容は、容器包装リサイクル法を改正し、抑制と再使用を促進するための法律の制定を求めるものです。

自治体が税金で容器包装を分別収集しているため、リサイクルに必要な総費用の約9割が製品価格に内製化されていません。このため、事業者には、真剣に発生抑制や環境配慮設計に取り組もうとするインセンティブ(誘因)が働かず、ごみを減らそうと努力している市民には、負担の在り方について不公平感が高まっています。

地球温暖化防止や資源の無駄遣いによる環境への負荷を減らすことが大切で、**頑張っている個人や事業者が報われる社会のシステム**をつくるのがこの国の将来にとって重要です。

・言いたい放題・

高校生らを対象に地理に関する知識や思考力を競う国際大会の募集ポスターで、北方領土を「ロシア領」と表記した地球儀の写真が使われた。この大会、文科省が後援し中学や高校の教員、大学教授、文科省役人ら68人の実行委員で構成され、ポスターの製作費も全額が税金だという。このうち10人以上がポスターの製作に携わったが、この「重大ミス」に誰も気づかなかったというから不思議でならない。

日本の領海での外国船の違法操業のみならず、日本固有の領土である尖閣列島問題では中国人船長を裁くことも出来ず、竹島は韓国軍に占拠され、日本への領海、領空侵犯は日常茶飯事で軽く見られたままだ。

独立国としての体をなさないこの国の現状は、政治の貧困と外交の無策、さらに教育現場での基本的な国家の意識や国家感の欠如が蔓延している表れではとの指摘も的を得てそうだ。